

# 兵庫県のり漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 8号)

播磨灘西部沿岸域を中心にユーカンピアが大量発生しており、この海域においても全域で多く確認されました。今回調査は下げ止まりから上げ始めの潮時の影響もあり、窒素はカンタマで4  $\mu\text{g at / L}$ 、漁場内で2~3  $\mu\text{g at / L}$ の値となっており減少傾向にあります。ユーカンピアの発生量が多いことや風波による拡散から更に栄養塩が低下する可能性もありますので今後、海況の動向には注意が必要です。

(水温) 漁場平均11.2℃。強い寒気の流入により冷え込む日が続いたため、水温は平年比+0.3℃まで低下しほぼ昨年並の状況。

(塩分) 平均31.72psu。上げ始めということもあり、前回(31.82psu)より0.1psu低い。

(栄養塩、珪藻) 1月上中旬頃に播磨灘西部の沿岸域で増殖していたユーカンピアが、先週末の強い季節風によりこの海域にまで拡散したものと考えられる。珪藻は他にキートセロスやレプトシリンドラス等も確認されるが、ユーカンピアがほぼ主体となっており海水1mlあたり150細胞前後と多い状況。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	13.9	11.2	10.9	11.1
窒素	6.1	2.6	3.6	3.1
リン	0.69	0.46	0.50	0.45

(1/4) (1/21)

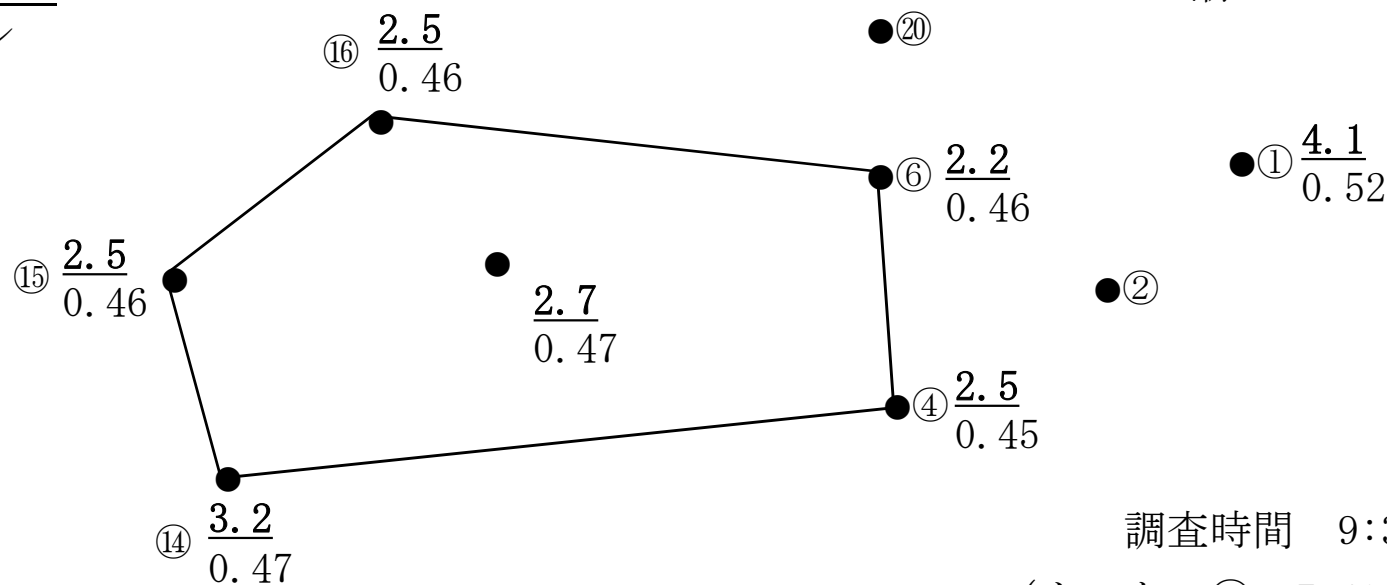
平成29年1月19日調査

## 栄養塩図

潮：止り～上げ始め

### 窒素

リン



調査時間 9:36~10:25

(カンタマ① 7:40、下げ潮)

## 水温・塩分図

### 水温

塩分

